

2021年7月6日

各学校 学 校 長 様
各学校 教 職 員 様
各教育研究団体会員 様

技術教育研究会北海道支部
代表 平 舘 善 明 (帯広畜産大学)

技術教育研究会北海道支部 夏季研修会のご案内

初夏の候、貴職並びに会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、各学校や地域における日々の教育実践及び教育活動に対し敬意を表します。

本研究会は、2020年1月に創立60年を迎えた教育研究団体です。次代を担う子どもたちの調和のとれた成長・発達と未来の主権者として不可欠な技術的教養の獲得のために、技術・職業教育関係者が集い、教育現場をとりまく諸課題の解決に向けたとりくみをすすめるとともに、教育課程や指導法の検討、教材・教具の開発等について、長年研究をつみ重ねてまいりました。また、夏・冬の長期休業期間中には合宿研修会を開催し、実技研修や実践交流を実施しています。

今回は、目下の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況や影響を鑑みて、オンラインにて実施いたします。アクリル板接着の作業工程を伴う実習を体験しながら、それに関わる遠隔授業時の安全管理を含めた実習方法、教育条件整備、特別支援教育等の諸問題について検討します。

時節柄、何かとご多用のこととは存じますが、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 主 催 技術教育研究会北海道支部
2. 開催期日 2021年8月11日（水曜日）
3. 会 場 オンライン会議システム Zoom にて実施
4. 研修内容 (1) 遠隔授業による実習の諸問題について
(2) プラスチックの接合を伴う実習の遠隔授業体験(双方向通信方式)
～特別支援教育ですぐに使えるタブレット端末入力装置(教具)の製作
(3) 障害児・者の技術教育について参加者による実践交流
5. 日 程 [予定は接続状況等によって一部変更する場合があります。]
8:50 開会準備・ミーティングルーム開場
9:00 趣旨説明
9:10 実技研修講座Ⅰ・Ⅱ
12:00 休憩・ミーティングルーム閉場
12:45 ミーティングルーム再開場
13:00 質疑応答・実践交流
14:00 地域の技術見学会

- 14:40 閉会集会
ミーティングルーム再開場
- 15:30 全国の実践交流（希望者のみ）・ミーティングルーム再開場
技教研第54回全国大会問題別分科会「G 障害児・者の技術教育」合同開催
- 16:30 ミーティングルーム閉場

6. 実技研修講座

I. 遠隔授業における安全管理を伴う実習の諸問題について

技術教育研究会北海道支部

井川 大介

II. プラスチックの接合を伴う実習の遠隔授業体験(双方向通信方式)

～特別支援教育ですぐに使えるタブレット端末入力補助装置(教具)の製作

北海道網走養護学校

船水 敦文

7. 実践交流（意見交換・教材紹介）

参加者で技術教育の現状を交流します。

8. 参加申込み 2021年7月22日（日曜日）までに、下記の事務局へ以下の内容を左記のQRコードあるいは、<https://forms.gle/zDhDdP4Uamr7LH1s5> から入力の上、お申し込みフォームでお申し込みください。



①参加希望者お名前(ふりがな), ②ご所属または勤務先, ③研修会当日に接続可能な参加者個人の電子メールアドレス, ④研修会当日に着信可能な参加者個人の携帯電話番号, ⑤研修会当日の参加予定場所, ⑥研修会当日の通信方法, ⑦参加者希望者のご専門(特別支援教育あるいは電子工学の場合は必ずお申し出下さい), ⑧使用する端末の種類, ⑨実践資料・教材紹介の資料提供の有無, ⑩事前送付のキット教材送付先について全て記載の上, ご送信ください。

◆お申し込みフォームから送信いただきましたら, 申し込み内容の確認と参加費のお支払い方法について, 電子メールを実施事務局から返信いたします。

◆実施事務局で参加希望者からのご入金を確認の後, 実施事務局よりキット教材の手配・送付を行います。

9. 費用 (1) 参加費(一部日程参加・全日程参加問わず共通)は, 3,000円です。
- (2) 技術教育研究会の会員は, 参加費(一部日程参加・全日程参加問わず共通)を割り引きます。2,000円とします。
- ※ 技術教育研究会に現時点で未入会の方で, お振込み日まで入会を希望される方は, 年会費 6,000円をお納めいただきますと, 本研修会の参加費を 1,000円にいたします。
- ◆ 入会方法の詳細や振り込み方法については, 参加お申し込みフォームからのお申し込みが完了後, 電子メールでお知らせ致します。実施事務局よりご入金の確認後, 再び電子メールでお知らせ致します。ご入金の確認後, キット教材を送付致します。

10. その他
- (1) 実践交流の資料をご用意できる方につきましては、pdf などのデータで実践交流の時間帯等にオンライン会議システム Zoom のチャット機能を使用し、添付していただきます。
 - (2) 参加者が申込後、事務局から実技研修講座で使用する電子部品と亚克力板（タブレットタッチャー）を事前に勤務校等へ送付させていただきます。
 - (3) 事務局から振り込み確認済みの電子メールには、開催にあたり事務局から緊急連絡の告知用 web ページのリンクを貼りつけております。実技研修講座の日程が近づきましたら予め、インターネット接続が可能な端末から事前にご覧下さいますようお願いいたします。
 - (4) 当日参加者が使用される通信端末の前で亚克力加工および電子部品の組み立てを行っていただきます。亚克力板の接着に必要な道具は、参加者それぞれでご用意ください。
 - (5) 使用する通信環境(勤務先または個人のネットワーク)に不安のある方につきましては、参加申し込みフォームに該当事項をご記入下さい。
- ※ 当日に通信環境が安定しない場合も想定されます。参加申込書に記載された携帯電話へ連絡をさせていただく場合がございます。
- ※ 当会未入会の方につきましては、参加申し込み枠に限りがあります。事務局でお振込みされました先着順で参加申し込み枠に達しましたら、会員外のお申し込み受付を〆切とさせていただきます。

11. 参加申込み・問い合わせ先

〒090-0065

北海道北見市寿町 6 丁目 1 番 20 号 北見市立北小学校 内
技教研北海道支部研修会実施事務局 井川 大介
電子メール gikyouken@gmail.com



お問い合わせ QR コード

(研修講座の内容紹介)

I 「遠隔授業における安全管理を伴う実習の諸問題について」

技術教育研究会北海道支部 井川大介

II 「プラスチックの接合を伴う実習の遠隔授業体験(双方向通信方式)」

北海道網走養護学校 船水 敦文 氏

対面授業の代替策として行われている遠隔授業は、その有効性や意義を認めた上でも、将来的に、対面授業が全面的に遠隔授業に移行することは考えにくいでしょう。遠隔授業と個別的な学習とは、イコールではないにしても親和性があるため、遠隔授業が推進されていけば、その結果として、学びの個別化も進行することでしょう。しかしながら、個別化された世界と公共性とは相性が悪いという指摘もあります。

また、技術・職業教育に関わる問題として、とりわけ実習等の技能の教授を含んだ教育活動は、遠隔授業となじまないことは、明白であるように思われます。一方で、遠隔授業で作業を伴う場合の生徒の安全確認には限界があること、他方で生徒にしてみれば、他生徒への気遣いによる心的疲労や、教師の指示通りに作業ができているかどうかとの不安が募ることもあります。教科の授業は、優れた教師の授業を動画で見ることで対面授業の代替になるともいわれますが、はたしてこうした点を批判的に検討することは、今後の課題といえます。

そこで本講座では、まず、研修会当日までにあらかじめ、講座での製作に関わる基本的な知識や説明を含んだ動画をネット端末から参加者それぞれの学習ペースで視聴をしていただきます(反転授業)。視聴後となる時期に、「タブレットタッチャー」の部品を研修会前日までに参加者へ送付致します。

「タブレットタッチャー」は、タブレット入力補助装置であり、タップの動作をスイッチで行うことができます。この装置を使用することで、指先等の微細な動作が困難な生徒でも、タブレットの操作を一定程度、自分ですることができます。これにより、司会・集会行事でのスライド操作等、彼らが活躍できる場とその経験を広げることができます。他にも、写真を撮ったり、電子書籍のページをめくって読む等、自分でできることが増えることで、表現や余暇の幅が広がったり、自己肯定感を高めることにつながっていけると考えられます。3000円程度で市販されていますが、費用を抑えて、生徒個人にあわせてスイッチ部を変更できるように、この講座で自作してみたいと思います。

網走市から中継する講師の説明と指示で、参加者はウェブカメラの前で事前に実施事務局から送付された部品を、ご自身で用意されたアクリル用接着剤や電子部品用はんだごて等の工具を使用して、実際に組み立てていただきます。完成させるまで端末の前で、生徒のように個別で学びながらも参加者が交流しながら遠隔授業を体験していただくこととなります。

これによって、子どもたちがオンライン上で共同の学びをする際の不便を参加者が体験できます。教師が遠隔授業で解説しながら実習を行う際の手法はもちろんのこと、そこでの技能指導上の問題点や、匂いを伴う加工をする実習形式の場合の安全指導の問題点等も議論・検証します。

反転授業の実施を検討する方や、オンライン会議ツール zoom を使用した実習について体験をしたという方にも簡単な説明から始めたいと思いますので、お気軽にご参加下さい。特別支援学校で使用している教具を知りたい方、プラスチック加工をする練習をしたいと考えてはいたものの、校外研修が困難な方に特におすすめの講座です。



iPad スクリーンのタップが難しい障害児・者用として使用できる。指でタップすることが難しい場合に活躍する。

今回は、この入力補助機器を製作します。ケースはアクリルを予定していますので、参加者の学校にあるアクリル加工の道具や電気半田ごてなどを用意していただき、一緒に作っていきましょう。

機器の改良も簡単で、子どもたちの実態に即したものにカスタマイズも可能です。

(写真はイメージです)

実技研修講座Ⅱで組み立てるタブレットタッチャー

◇地域の技術見学会では、新潟県立塩沢商工高等学校のフォト見学あるいは、道内の特別支援学校のライブ配信を予定しています。